

項目	内容
名称	ウメガサソウ [英]Pipsissewa、small spotted wintergreen [学名]Chimaphila japonica Miq.
概要	ウメガサソウは、東部アジアの温帯から亜寒帯の乾燥地に広く自生する常緑多年生草本である。飲料やキャンディー、焼き菓子などの香料として使用され、俗に、「前立腺肥大によい」「消臭効果がある」などと言われているオオウメガサソウ (<i>Chimaphila umbellata</i> (L.) W.C.Baarton) を示すことがあるが、ウメガサソウとは別種である。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全草：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・イソホモアルブチン等を含む (101)。
分析法	-
有効性	
ヒトでの評価	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。

生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (101) 健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規 (102) 学名でひく食薬区分リスト 薬事日報社